PICKIN' SINGIN' Rocky Top GINZA かわら版 第37号

'98, 12, 1 発刊

Yeah! マスター No34

～ため口事件～ 作・チーフ井上

不況続く日本ですが、
こんな時こそ元気に！
そして唇に歌を！
今年はありがとうございました。

お酒のお話 ～イギリスでのビールのたのみ方～

普通アメリカでは「ビール下さい」は One Beer please. で通じるのだが、イギリスでは駄目。逆に何かゴイゴイヤ聞き返されキョトンとしてると、そのうち相手にされなくなる。そんな時 One lager please. と言おう。すかさずビールが出てくる。イギリスでは Beer を細かく種類分けしていて、Lager、生ならば Draught、びんならば Bottle、黒ビールならば Bitter と Stout もがある。細かいけれどもしイギリスに行く人は気をつけて！ なお、Please give me beer は おかしいからアメリカでも使わないこと。

ロッキーに Newバーボン登場！

このたびテンガロンハットとイエローストーンを置くことになりました。テンガロンハットがショット 700円、ボトル 6,300円。イエローストーンがショット 900円、ボトル 8,800円です。是非一度御賞味下さい！

ロッキートップのホームページ案内！

http://www.asahi-net.or.jp/~sd5h-mksm/rockytop12.html

&

イシバシ楽器 → http://www.ishibashi.co.jp

こないだ大阪に行ったらホームページで「Yeah! マスターのまん画見てるで～！ 先月のはおもろかったなー」とほめられてうれしかった。俺はまん画家か？

SHIME九CD発売！

～マスターの名前もフレジット～

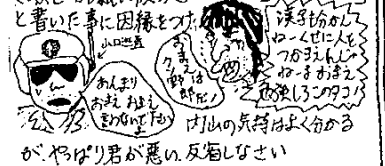
ずっと前にロッキーでバイトしていたシメさんが久々の CD Years of Years をリリースした。もう若くはないけどという思いを素直に描いた優しい歌の数々。ギターに西海さん、堀沢さんも参加してます。Special Thanks の一番に Kazuoki Kayanagi とクレジットされている。

12/27に渋谷クロコダイルにCD発売記念ライブをやります。CDはタワーレコード HMV など ロッキートップにも置きます。どうぞよろしく！

ロッキートップ3面記事

スタッフ内山 白バイに悪態をつく!!

去る 11/6(金) 横浜の自宅付近で原付を運転中のスタッフ内山が、白バイのサイレンに呼び止められた。理由はヘッドライトがついてなかったからだ。おまけに速度メーターが壊れてない白バイの山口巡査は整備不良と判断。しかし内山はかなりむかついていた。きっぷを切る紙に彼の大学「一松学舎」を「一松学生」と書いた事に因縁をつけ、



→次回は「内山 歯医者に悪態をつく」

今年も来ましたクリスマス ～スペシャルウィーク12/9～25まで

バンド紹介

12/19(土) SHAKIN CIGARETTES …さわやかなロカビリー もどうぞ。元気で楽しいバンドです。

12/20(日) VanQ …モダンフォークカルテット完全コピーの実力派グループ。美しいハーモニーが楽しめます。

12/21(月) KILALA & SHINOBU …ブルーグラスとカントリー両方楽しめたい方に Good。Vo のしのぶさんとても暖かく歌います。

12/22(火) トニー中村&スティールサウダーズ …これぞプロのカントリーバンド！最近の曲も取り上げています。カントリーダンスの方も踊って下さい

12/23(水) クリスマス ブルーグラス大会 モーニングミルクティ と ON THE BLUE GRASS …さわやかな女性ものバンド と 渋くかっこいいおじさんのバンド かなり対照的だ～ それぞれゲスト 小野まりこ と 中村淑子

12/24(木) WEST OF THE MOON …最高なアカペラと最高なMC、とにかく楽しいクリスマス・イブになることでしょう(ブルーグラス)

12/25(金) THE NEW APPLE SEED …押しも押されぬロッキーNo.1ブルーグラスバンド！おなじみから手渡しで、クリスマスプレゼントがもらえます。(超フェロモンだ!)

ブルーグラスな人達 ～Meet The Bluegrass～

ブルーグラスとの出会いを通してブルーグラスを考察するこのコーナー。今回はお仕事では、熊本カントリーゴールドのツアーを担当し、バンドでは Lonsome Grass Boys でバリバリをきかせる小浜政夫さん(49)です。正統派を感じる小浜さんの原点に迫ってみました。

全くもって兄貴の影響型！

→結婚音楽一家だった。母親は小唄、長女はクラシック、長男はジャズ。そして二男がカントリー、ブルーグラス、もう一人の3市(次女)がいて、一番末っ子だった。初めて人前で歌ったのは中学校の遠足で村田英雄の「王将」(演歌もよくきいた。)だが決定的に小浜さんの人格形成、音楽形成に影響を及ぼしたのは7つ上の二男のブルーグラスだった。小学校5年の時、家に初めてステレオがくるのだが、その時あった LP が、ハンク ウィリアムス大全集とスタンレーブラザーズだけだった。(二男の)小浜さんは必然的にそのレコードばかりをきくことになる。おまけに当時大学生だった兄が家に仲間を連れてきてブルーグラスを演奏。なんというぜいたく！生のブルーグラスをきいていたのだ。(ゴージャス!)家には兄のギター、ドブロ、マンドリンが転がっていて、そのギターを手にして歌い出したのは中学から。実に自然にブルーグラスに溶けこんでいった。しかしクラスメイトはブルーグラスなど知らない「みんな知らないと思うけど僕はスタレーブラザーズっていうバンドが好きで～」とかなり自慢気に自己紹介したのが高校一年の時だった。しかし何と同じくスタンレーが好きだという男が隣のクラスにいたのだ。噂をききつけて行ってみると確かにいた。「やぼスタンレーだよね」その人が現在 Lonsome Grass Boys でマンドリンを弾いている後藤さんだった。人生は出会いだなー。2人は意気投合してバンドを始めた。後藤さんもギターを弾いていたのだがすぐさまバンジョーを買いに行って、ラルスタンレーになった。そして高校時代は小浜後藤ブラザーズで2人組の活動をした。その後、二浪をへて専門学校へ入学。小山さん(Lonsome Grass Boys のバンジョー)も加わり月に一度ヤマノホールでフォークの連中と一緒に出演。結局足かけ7年、後藤さんとコンビを組んだ就職して(しかし)!と音楽はやめてしまったのだが千葉のブルーグラスサークルを知ったのが運のつき。活動を再開。後藤さんも呼び寄せ Lonsome Grass Boys を結成。とにかくスタンレー1本にしぼろうというコンセプトの中、正統派なブルーグラスをきかせている今日この頃です。これからの抱負としては「Lonsome River 正歌いたい」との事 とにかく自然にブルーグラスに入っていた小浜さん。かりかし屋根した人が多い中 いもうでいないクラブの人だなと思いました。→12/10(木)に出演します。スタンレー好き集まれ！